



**2020年3月期 第1四半期  
決算説明会**

**2019年7月29日**  
株式会社 **DTS**

## 1. Nelito Systems Limited の子会社化

2019年6月、金融事業領域でのグローバルビジネス拡大を目的に、Nelito Systems Limited（インド・ムンバイ／以降、本資料では「Nelito」と記載）の株式を追加取得し、新たに連結子会社とした。

## 2. 自己株式の取得

2019年5月、資本効率の向上ならびに、株主へより一層の利益還元を図るため、自己株式を取得した。（約177千株、約8億円）

## 3. コーポレート・ガバナンスの実効性強化

2019年6月の定時株主総会后、役員13名のうち7名が独立役員となり、過半数を占めることとなった。今後もコーポレート・ガバナンスの実効性確保に努める。

## 4. 株式分割

2019年7月、株式の流動性向上に向け、普通株式を1株から2株へ分割した。

# 第1四半期 連結業績

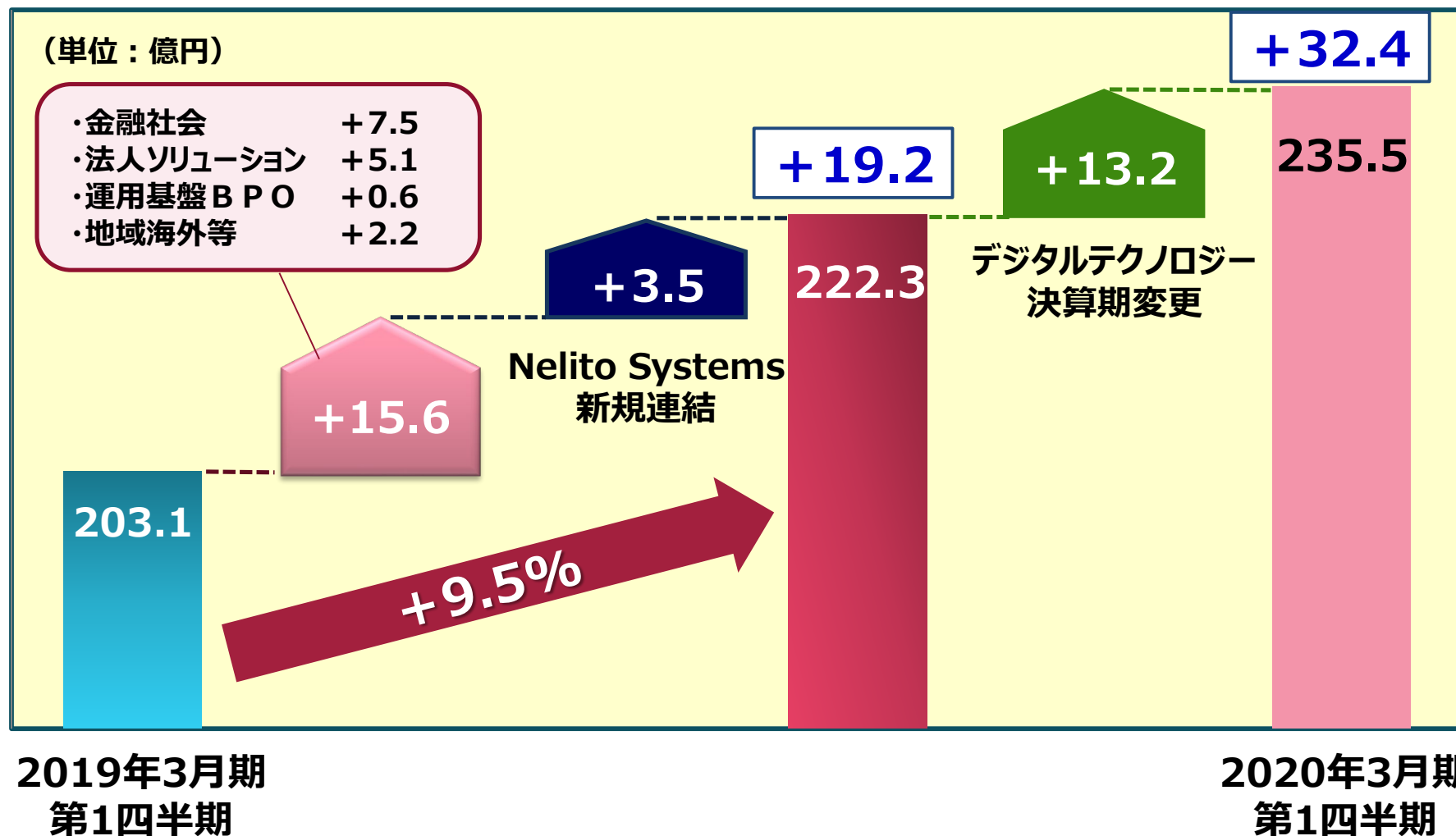
売上高は、金融分野が前年同期比でプラスに転じるなど、DTS単体の業績が好調に推移し、Nelito新規連結・DTC決算期変更含め、前年同期比+32.4億円。営業利益は、組込み関連分野の前年特需による反動減があったものの、増収に伴う利益増および不採算の圧縮による利益改善などで、前年同期比+4.7億円。なお、第1四半期の営業利益率は、四半期決算開始以降初めて10%超となった。

(単位：億円)	実績	売上比 (前年同期比)		前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	235.5 <222.3>	—		+32.4 <+19.2>	116.0% <109.5%>	25.2%
売上総利益	45.0 <43.3>	19.1% <19.5%>	(△0.2pt) <+0.1pt>	+5.7 <+4.0>	114.6% <110.3%>	24.6%
販管費	21.4 <20.0>	9.1% <9.0%>	(△1.0pt) <△1.0pt>	+0.9 <△0.3>	104.8% <98.2%>	25.7%
営業利益	23.6 <23.3>	10.0% <10.5%>	(+0.7pt) <+1.2pt>	+4.7 <+4.4>	125.3% <123.5%>	23.7%
経常利益	24.2 <23.8>	10.3% <10.7%>	(+0.7pt) <+1.2pt>	+4.8 <+4.4>	124.9% <122.9%>	23.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16.8 <16.6>	7.2% <7.5%>	(+0.7pt) <+1.0pt>	+3.7 <+3.4>	128.5% <126.6%>	24.5%

※ <> 内はデジタルテクノロジーの決算期変更影響を補正したもの。

# (参考1) 第1四半期 売上高増減要因

デジタルテクノロジーの決算期変更影響を除いた場合、前年同期比+19.2億円（+9.5%成長）。



# 第1四半期 個別業績

売上高は、金融分野が前年同期比でプラスに転じ、また法人ソリューション分野も好調に推移した結果、前年同期比+14.2億円。

営業利益は、売上増加に伴う利益増および不採算の圧縮による利益改善などで、前年同期比+4.9億円。

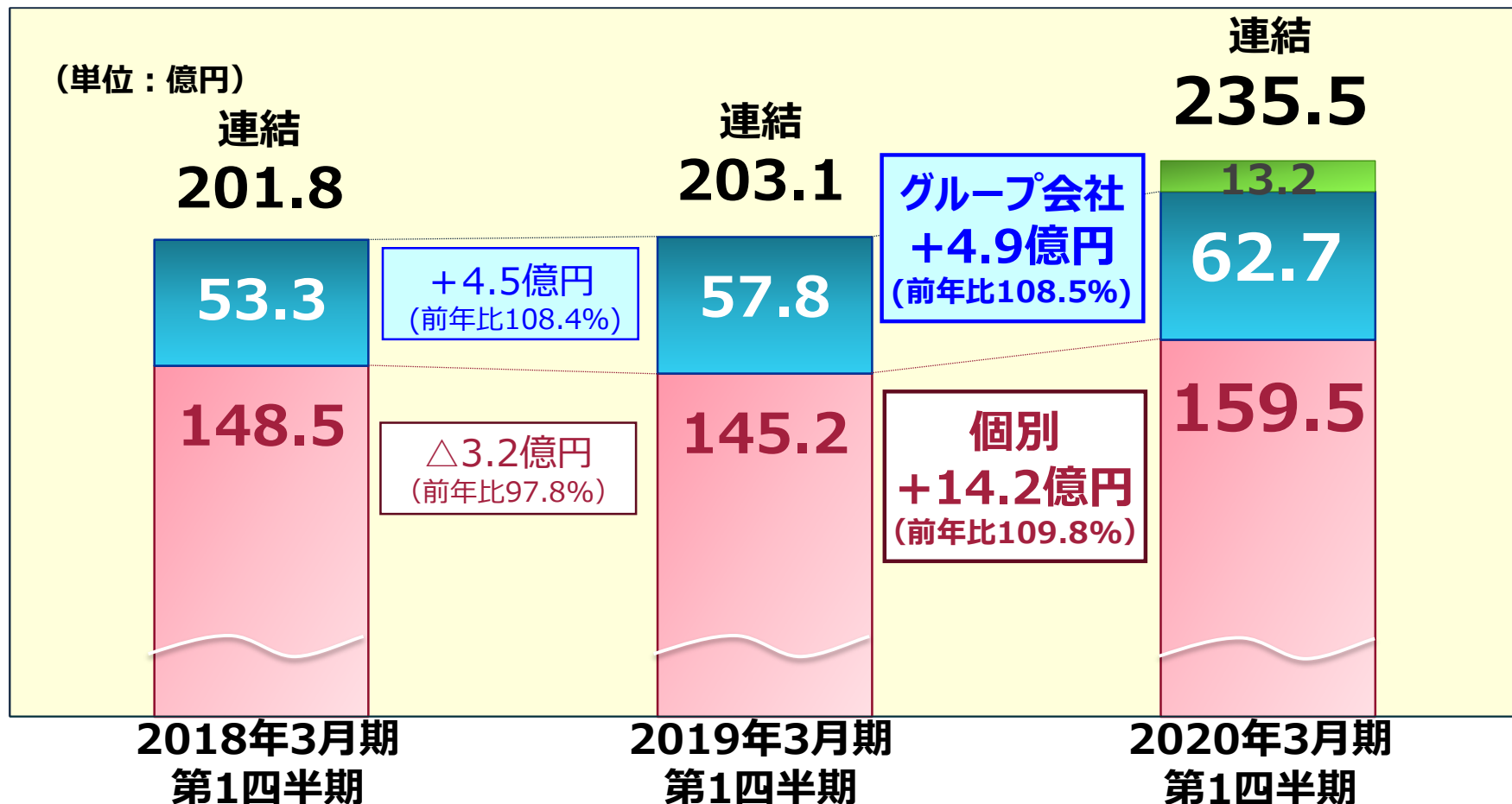
(単位：億円)	実績	売上比 (前年同期比)		前年同期比	
売上高	159.5	—		+14.2 <+26.7>	109.8% <120.1%>
売上総利益	31.1	19.5%	(+0.9pt) <+0.7pt>	+4.1 <+6.1>	115.3% <124.5%>
販管費	12.2	7.7%	(△1.3pt) <△1.3pt>	△0.8 <+0.3>	93.4% <102.6%>
営業利益	18.8	11.8%	(+2.3pt) <+2.0pt>	+4.9 <+5.8>	136.0% <144.5%>
経常利益	23.5	14.8%	(+2.9pt) <+2.4pt>	+6.2 <+7.1>	136.4% <143.2%>
四半期純利益	17.5	11.0%	(+2.2pt) <+1.8pt>	+4.7 <+5.3>	137.2% <143.4%>

※前年同期比は、2018年に実施したデータリンクスの吸収合併影響を補正したもの。<>内は補正前の値。

# 売上高の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、証券や住宅関連が好調に推移し、前年同期比+14.2億円。  
グループ会社では、地域分野が堅調に推移したことやNelitoの新規連結などにより、前年同期比+4.9億円。

■ 個別売上高 ■ グループ会社売上高 (連結調整含む) ■ DTC決算期変更

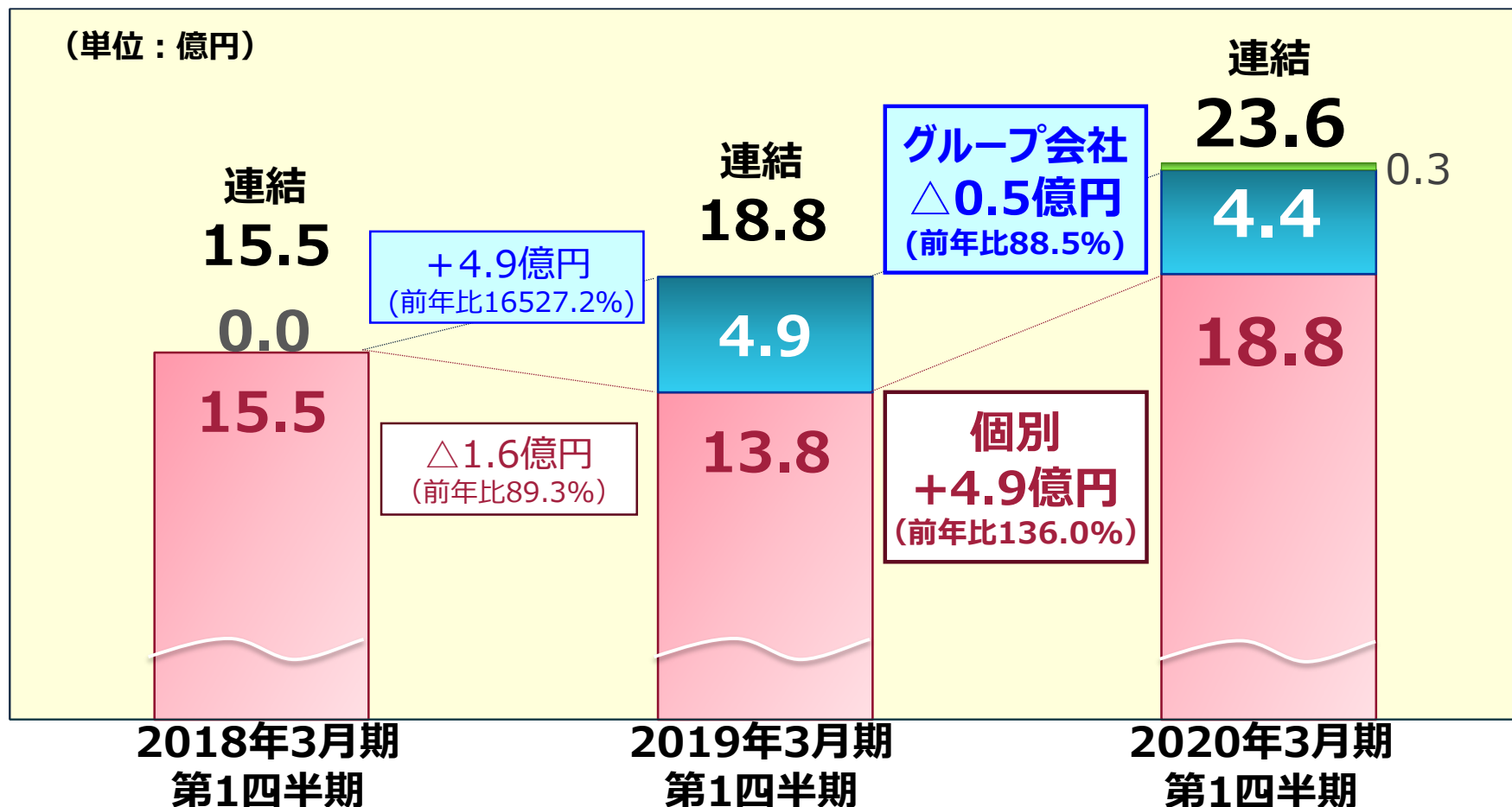


※個別の2018年3月期、2019年3月期は、2018年に実施したデータリンクスの吸収合併影響を補正したものの。

# 営業利益の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、売上増加に伴う利益増や不採算の圧縮などにより+4.9億円。  
グループ会社では、前年の組込み関連における特需の反動減などにより、前年  
同期比△0.5億円。

■ 個別営業利益   ■ グループ会社営業利益（連結調整含む）   ■ DTC決算期変更



※個別の2018年3月期、2019年3月期は、2018年に実施したデータリンクスの吸収合併影響を補正したもの。

# 第1四半期 セグメント別売上高

- ・金融社会では、証券の大型案件や政府系金融機関などの増加により増収。
- ・法人ソリューションでは、住宅関連などの案件が好調に推移し、増収。
- ・運用基盤BPOでは、DTC決算期変更影響を除くと前年同期並み。
- ・地域・海外等では、地域分野の堅調な業績やNelitoの新規連結などで増収。

(単位：億円)	実績	構成比 (前年同期比)		前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	235.5 <222.3>	—		+32.4 <+19.2>	116.0% <109.5%>	25.2%
金融社会	74.3	31.6% <33.5%>	(△1.3pt) <+0.6pt>	+7.5	111.3%	24.0%
法人ソリューション	61.6	26.2% <27.7%>	(△1.6pt) <△0.1pt>	+5.1	109.2%	22.6%
運用基盤BPO	74.1 <60.8>	31.5% <27.4%>	(+1.8pt) <△2.3pt>	+13.9 <+0.6>	123.1% <101.1%>	28.7%
地域・海外等	25.4	10.8% <11.4%>	(+1.1pt) <+1.8pt>	+5.7	129.4%	27.0%

※実績はグループ外売上高、<>内はデジタルテクノロジーの決算期変更影響を補正したものの。

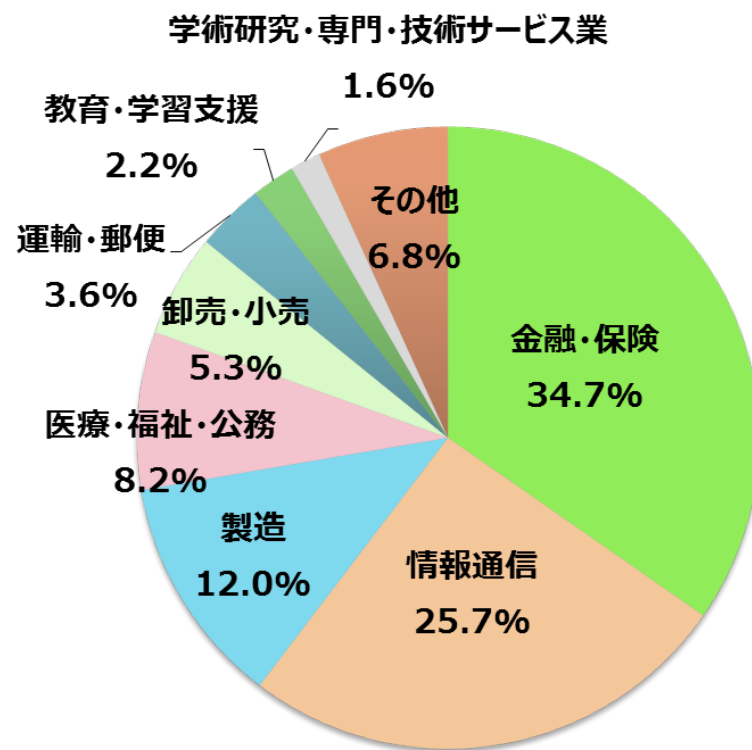


# 第1四半期 エンドユーザ別 連結売上高

- ・金融・保険は、証券の大型案件や政府系金融機関などの増加により増収。
- ・情報通信は、通信業向け基盤案件の拡大により増収。
- ・製造は、組込み関連分野における車載機器メーカーなどの好調により増収。

## 経済産業省による業種分類別売上高

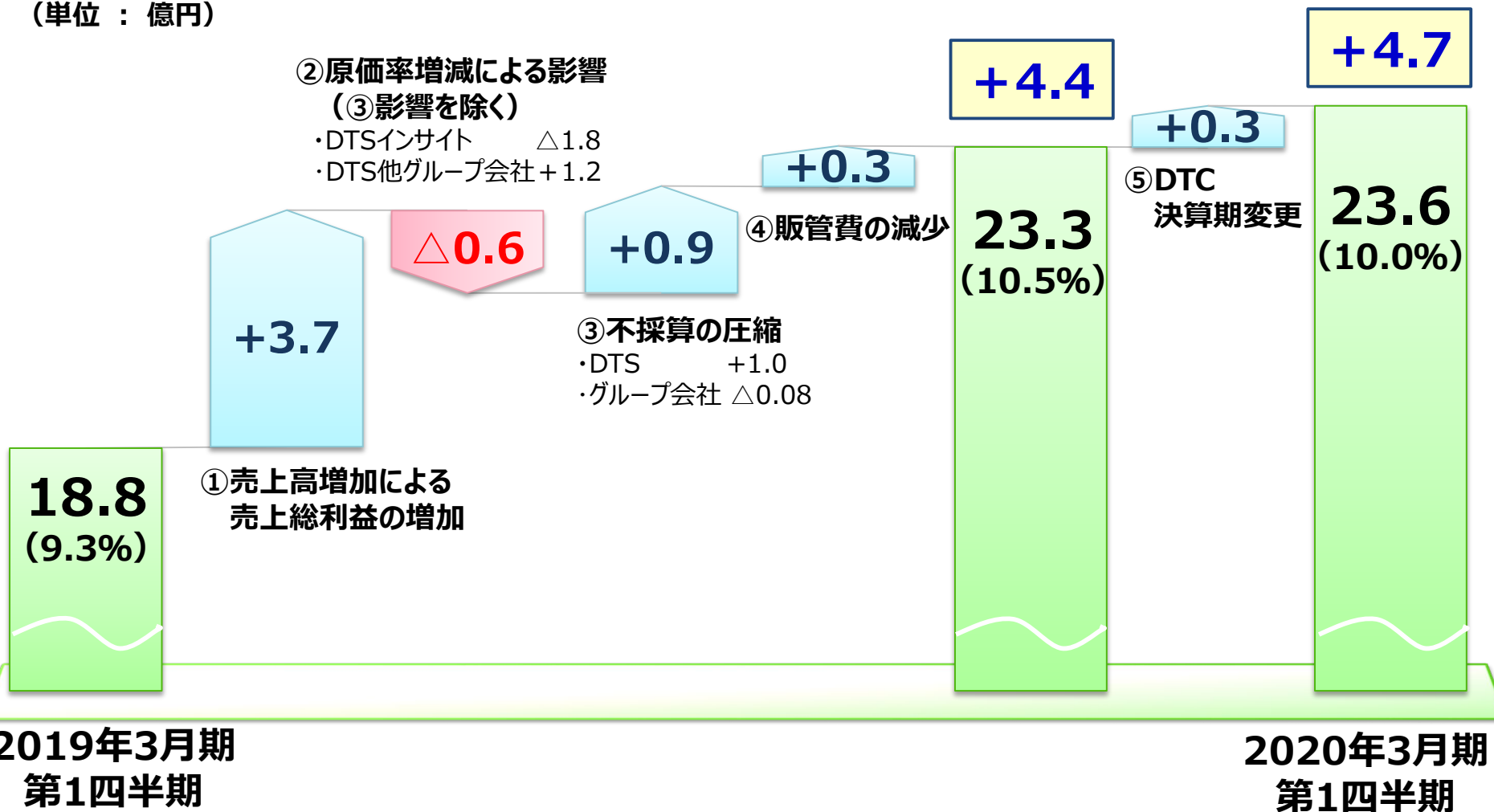
(単位：億円)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	77.1	34.7%	+10.7	116.1%
情報通信	57.0	25.7%	+1.7	103.1%
製造	26.5	12.0%	+2.5	110.6%
医療・福祉・公務	18.2	8.2%	+3.8	127.2%
卸売・小売	11.8	5.3%	+0.2	102.4%
運輸・郵便	7.9	3.6%	+0.5	107.6%
教育・学習支援	4.9	2.2%	+0.0	101.3%
学術研究・専門・技術サービス	3.4	1.6%	△2.1	62.2%
その他	15.0	6.8%	+1.5	111.4%
合計	222.3	100.0%	+19.2	109.5%



# 第1四半期 連結営業利益の増減要因

売上増加に伴う利益増および不採算の圧縮による利益改善などで、組込み関連分野における前年特需の反動減をカバーし、前年同期比+4.7億円。

(単位：億円)



# 第1四半期 セグメント別受注

## 【受注残高の状況】

- ・金融社会では、証券やその他金融機関のOA案件などにより増加。
- ・法人ソリューションでは、住宅関連や運輸などの案件拡大で増加。
- ・運用基盤BPOでは、小売の運用案件拡大などで増加。
- ・地域・海外等では、Nelitoの新規連結（11.7億円）を除くと微増。

単位（億円、%）	受注高				受注残高			
	実績	構成比	前年同期比		実績	構成比	前年同期比	
<b>連結</b>	<b>173.3</b> <160.5>	—	<b>+31.7</b> <+19.0>	<b>122.4%</b> <113.4%>	<b>329.1</b> <329.5>	—	<b>+37.0</b> <+37.4>	<b>112.7%</b> <112.8%>
<b>金融社会</b>	<b>42.2</b>	<b>24.4%</b> <26.3%>	<b>+9.4</b>	<b>128.8%</b>	<b>122.1</b>	<b>37.1%</b> <37.1%>	<b>+9.0</b>	<b>108.0%</b>
<b>法人ソリューション</b>	<b>58.5</b>	<b>33.8%</b> <36.4%>	<b>+5.2</b>	<b>109.8%</b>	<b>69.8</b>	<b>21.2%</b> <21.2%>	<b>+7.7</b>	<b>112.5%</b>
<b>運用基盤BPO</b>	<b>46.0</b> <33.3>	<b>26.6%</b> <20.8%>	<b>+12.1</b> <△0.5>	<b>136.0%</b> <98.4%>	<b>104.9</b> <105.2>	<b>31.9%</b> <31.9%>	<b>+8.0</b> <+8.3>	<b>108.3%</b> <108.6%>
<b>地域・海外等</b>	<b>26.4</b>	<b>15.3%</b> <16.5%>	<b>+4.9</b>	<b>122.8%</b>	<b>32.3</b>	<b>9.8%</b> <9.8%>	<b>+12.2</b>	<b>160.7%</b>

※ <> 内はデジタルテクノロジーの決算期変更影響を補正したもの。

# (参考2) Nelito Systems Limited の概要

2017年3月に資本・業務提携したインドIT企業Nelitoの株式を2019年6月に追加取得し、連結子会社とした。



## 子会社化の目的

金融事業において、さらなる事業シナジーを実現することでグローバルビジネスの拡大を目指す

### 会社概要

所在地	設立年月
インド・ムンバイ(※)	1995年5月
資本金	従業員数 (2019年3月末)
約0.3億円	1,091名
事業内容	
銀行向けSI事業、ソリューション提供、SWIFTパートナーサービス	
直近業績 (2019年3月期、インド会計基準)	
売上高	: 約15.5億円
営業利益	: 約1.2億円



# (参考3) 主なプレスリリース

公表日	会社名	タイトル・概要
4月26日	D T S	<b>インド Nelito Systems Limitedを子会社化</b> ※Nelito Systems Limitedの株式を追加取得し、子会社とすることを決定。DTSグループの金融事業分野において、さらなる事業シナジーの実現により、グローバルビジネス拡大を目指す。
4月26日	D T S	<b>「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」</b> ※資本効率の向上、株主の皆様へより一層の利益還元を図るため、自己株式の取得を実施。 (取得予定数：200千株、取得総額：800百万円、期間：2019年5月8日～2019年6月7日)
4月26日	D T S	<b>「株式分割に関するお知らせ」</b> ※株式の流動性向上に向け、普通株式を1株から2株に分割することを決定。 (効力発生日：2019年7月1日)
5月30日	D T S	<b>「自己株式の取得状況および取得終了に関するお知らせ」</b> ※取得総数：177,600株、取得総額：799,804千円 期間：2019年5月8日～5月29日

# 2020年3月期 第1四半期 決算説明会 ご清聴ありがとうございました

新たな価値を創り出す

**MADE BY DTS Group**



## 本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。